

平成27年6月

事業主各位

長崎県知事 中村 法道



長崎労働局長 大塚 崇史



新規高卒者におけるハローワークへの早期求人申込と
「魅力ある職場づくり」について（協力依頼）

長崎県政及び労働行政の運営につきましては、日頃から格段のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成27年3月卒業の県内高校生の就職内定率は98.7%と、早期に提出された求人の増加などから、前年度に比べ0.8ポイント上昇しており、平成5年3月卒業生の内定率以来22年ぶりの高い水準となりました。皆様方のご協力に感謝申し上げます。

一方、就職者のうち半数近くが県外へ就職するなど、依然として若者の県外流出が続いています。地域の活性化のためには、1人でも多くの高校生に県内に就職していただく必要があるため、採用枠の確保はもとより、生徒の皆さんの多くが7月中には学校に提出された求人の中から応募企業を決定することから、県内の優秀な高校生を採用するためにも、早期の求人提出が極めて重要であると考えています。

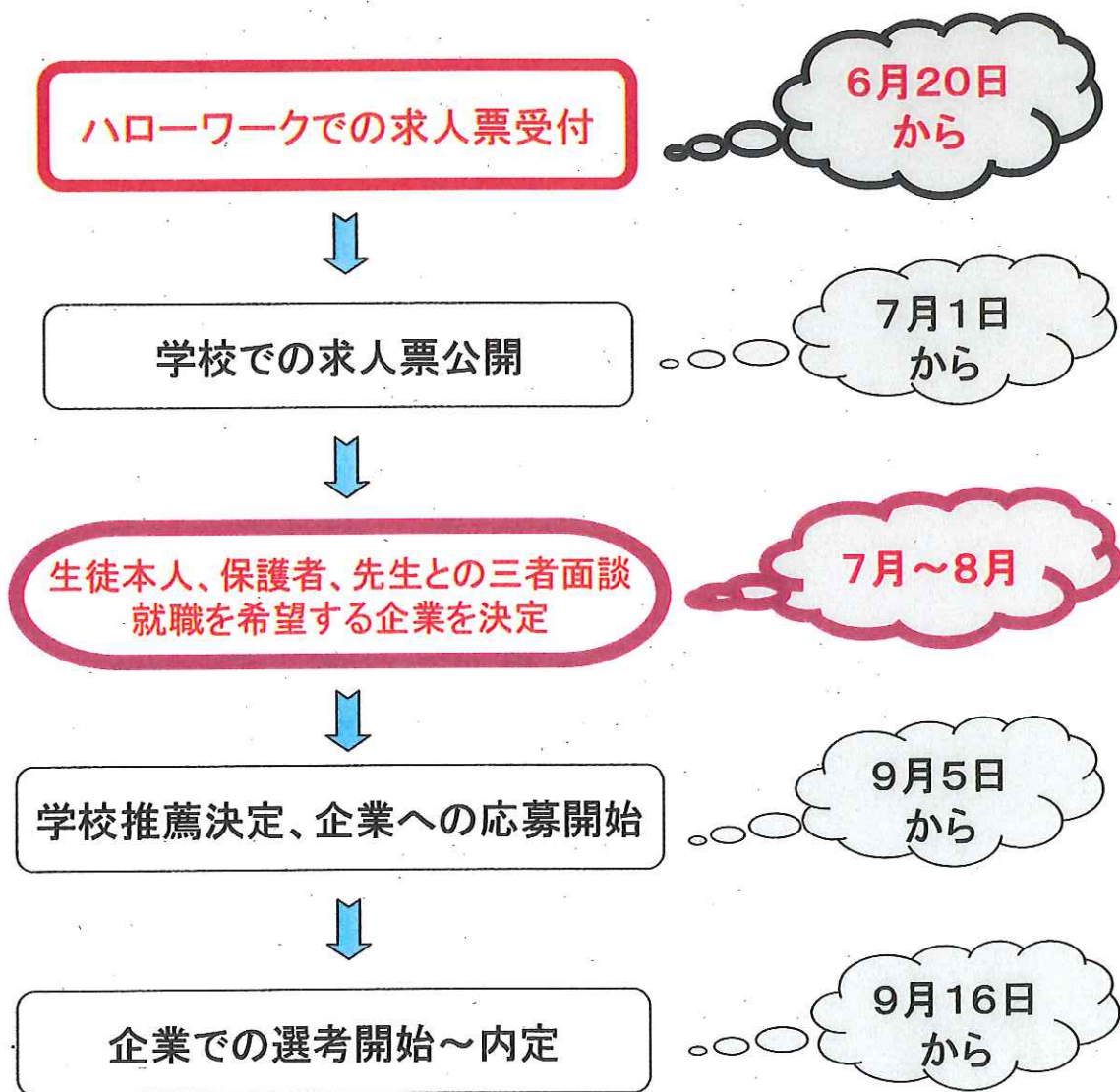
さらに、最近では、少子高齢化の影響により、労働力人口が減少していく中で、若年者を中心とした人手不足が懸念されています。若い優秀な人材を確保するためには、将来にわたり安心して働くことができるように雇用管理を改善し、「魅力ある職場づくり」を進めていくことが必要不可欠です。

このため、長崎県及び長崎労働局では、次世代を担う若者の県内就職の促進・定着を目的として「県内高卒求人確保キャンペーン」を実施しているところであります。

県、労働局など関係機関においては、県内での就職を希望する若者に郷土の活性化の一翼を担ってもらえるよう、緊密な連携の下、各種支援策を実施しているところではありますが、事業主の皆さまの更なるご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

県内企業、ひいては長崎県の発展を担う若者の県内就職を促進するため、来春の新規高卒者におけるハローワークへの早期求人申込（6月20日受付開始）と「魅力ある職場づくり」について何卒よろしくお願い申し上げます。

高校生の就職活動の流れ



**1日でも早く、求人票を提出することが、
県内高校生を確保する最良の方法です。**

○ H27.3卒 県内の求人票提出状況(3月を100%とした場合)
7月末 68.5% 8月末 77.7% 9月末 85.9%